

町政を問う!



柴田 真人 議員

通学路の安全確保 改善していく

問 子ども達の通学路の安全確保を再度点検してほしい。
夏休み前の地区懇談会であがったことや、日頃学校で先生方が子ども達から危険を感じたことが無かったか等を聞いて、できる所は最善を尽くして改良してほしい。
また、今からは暗くなるのも早いので帰宅時の通学路の外灯の点検・増設も考えてもらいたい。

答 中嶋町長
外灯というのが、道路照明（街路灯）なのか、防犯灯なのか、あるいは商業灯なのかにより対応が違ってきます。
電気料を、街路灯であれば町が払いますが、地区内の防犯灯については行政区が、商業灯であればその看板をかけてある事業者の方が負担・設置ということになり、全て町がやっているわけではありません。
防犯灯の設置については、各行政区からの要望に沿って設置しており、要望がでていないのに設置していないところ等はありません。
子どもたちの登下校の見守りについては、それぞれの学校、地域のボランティアの方々により十分行われています。
そのような中、PTAの会議の中で、一番怖いのは学校に送り迎えをされる保護者の方がスピードを出して来られるとい



道幅の狭い通学路

う、本来守らなければならぬ保護者のほうが危険性があるという指摘も上がっている状況です。
夏休み前に地区懇談会が行われ、危険箇所改善要望等も出ていますので改善をやっていきたくと思っています。
しかし、通学路の狭い箇所等改善しなければならぬとは思いますが、

らないとは思いますが、改善すると車が入ってくるわけで、狭いから車が入ってこないという反面そういう問題も起こってきます。
特に須恵町は、それぞれの方々が子どもの安全性について見守りを行っているに感謝しています。



三角 良人 議員



啓発看板「フンの後始末を！」

飼主による 犬のフンの放置防止

良識に任せるしかない

問 ペットとして犬を飼う家庭が増え、農道を散歩させている飼主を多く見かけます。
残念ながら、モラル・マナーに欠ける飼主がフンの処理をせずに済まされています。

答 中嶋町長
看板設置、狂犬病予防注射時に啓発パンフレット等を配付、広報紙による啓発、看板設置等行っていますが、なかなか守られないというのが実情です。
日本で初めてフン公害防止条例を志免町がつくり、その後宇美町もつくられました。これがいい防止策にはなっていないということでした。

町としても、何か良い方法があればやっていきたいと思っていますが、今のところ個人個人の良識に任せるしかなく、難しい問題だと思っています。